

首都圏調査における調査票および単純集計結果

第2回 エネルギーと原子力に関するアンケート

社団法人 日本原子力学会

【ご回答にあたって】

- 他の方と相談したりせずに、あなたのお考えをありのままにお答えください。
- 回答は最初の質問から始め、途中で戻らないようにしてください。
- 調査の結果は統計的に処理されてまとめられます。あなたのお答えが個人的に取り上げられて、分析されることはありません。
- ご記入後の調査票は、回答もれがないかをお確かめの上、回収にお伺いする調査員にお渡しください。
- 調査票の記入方法などご不明の点などがありましたら、下記担当者までお問い合わせ下さい。

【調査の内容について】

社団法人 日本原子力学会
第2回 エネルギーと原子力に関する
アンケート調査
実施幹事：木村 浩
(東京大学大学院工学系研究科准教授)
〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1
電話：03-5841-2959

【調査の実施について】

社団法人 ^{よろんかがくきょうかい}輿論科学協会
担当：井出、^{よしむた}吉牟田
〒151-8509 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-8-6
電話：03-3401-1131

質問は、あなたのお考えにあてはまる選択肢を選んで、該当する数字の個所に○をつけていただくものがほとんどです。下の例にならってお答えください

例. 右の選択肢の中で、あなたのお考えにもっとも近いと思われる数字の個所に○を付けてください。

答え方がわかった	どちらかといえは 答え方がわかった	どちらともいえない	どちらかといえは 答え方がわからない	答え方がわからない
↓	↓	↓	↓	↓
1	2	3	4	5

【最初に一般的な事柄について、あなたのお考えをおうかがいします。】

Q 1. 以下のような事柄のうち、あなたが普段から関心を持っている事柄はどれですか。特に関心を持っているものをいくつか選んで、番号に○をつけてください。

1. 政治	43.6%	14. 老後	49.6
2. 物価・経済	68.0	15. 犯罪	49.6
3. 少子・高齢化	31.4	16. 戦争	20.4
4. 科学技術	10.8	17. 外交	11.6
5. 資源やエネルギー	27.4	18. 核不拡散問題	6.6
6. 原子力	13.2	19. テロ	26.4
7. 環境	41.8	20. 雇用	34.8
8. 地球温暖化	48.0	21. 教育	39.6
9. 輸入食品	33.4	22. 廃棄物問題	13.8
10. 遺伝子組み換え食品	16.4	23. 放射性廃棄物問題	11.6
11. 交通事故	29.6	24. 病気	54.0
12. 原子力施設の事故	14.0	25. 趣味や娯楽	40.6
13. 地震や台風のような自然災害	46.0	26. ボランティア・地域活動	12.8
		27. その他：	1.0

Q 2. 以下のような事柄のうち、あなたが普段の生活を送るうえで不安を感じる事柄はどれですか。特に不安を感じるものをいくつか選んで、番号に○をつけてください。

1. 政治	35.6%	14. 老後	51.2
2. 物価・経済	60.4	15. 犯罪	50.2
3. 少子・高齢化	25.6	16. 戦争	18.6
4. 科学技術	2.2	17. 外交	7.0
5. 資源やエネルギー	19.0	18. 核不拡散問題	6.4
6. 原子力	7.8	19. テロ	23.2
7. 環境	26.8	20. 雇用	25.2
8. 地球温暖化	46.8	21. 教育	20.0
9. 輸入食品	30.0	22. 廃棄物問題	11.0
10. 遺伝子組み換え食品	15.4	23. 放射性廃棄物問題	12.0
11. 交通事故	30.0	24. 病気	56.6
12. 原子力施設の事故	11.4	25. 趣味や娯楽	5.2
13. 地震や台風のような自然災害	45.4	26. ボランティア・地域活動	1.8
		27. その他：	0.4

Q 3. あなたは、どのような会社であれば信頼できると思いますか。特に大切と思われるものをいくつかも選んで、番号に○をつけてください。

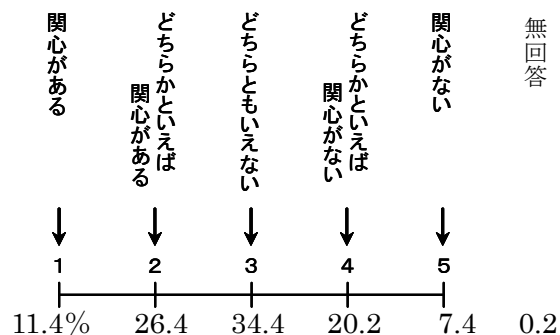
1. 会社の情報が手軽に入手できる	21.6%	10. 身近で親近感がある	18.4
2. 入手できる情報には、会社側に不利な情報も含まれている	36.4	11. 会社設立から長い歴史がある	19.6
3. 製品やサービスの品質が高い	59.4	12. 資本金や従業員数など規模が大きい	14.0
4. 斬新な製品の発売や、斬新な経営方針を打ち出す	9.8	13. 倒産することはなさそう	23.2
5. 夢がある	19.8	14. 経営状態が良い	54.0
6. 社員が真面目そうである	11.2	15. 社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	30.6
7. 社員を信頼できる	40.0	16. 会社のブランドイメージが良い	15.6
8. 会社のトップ(経営者)が信頼できる	53.4	17. 電話や面会時の社員の対応が良い	41.2
9. 顧客重視の姿勢がある	44.4	18. その他： _____	0.4

Q 4. あなたは、どのような公的機関（区役所や市役所など）であれば信頼できると思いますか。特に大切と思われるものをいくつかも選んで、番号に○をつけてください。

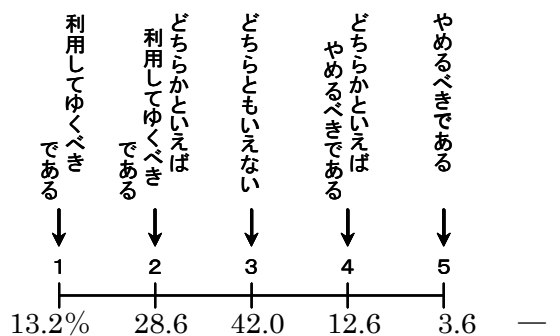
1. 公的機関の情報が手軽に入手できる	35.8%	10. 身近で親近感がある	31.4
2. 入手できる情報には、公的機関側に不利な情報も含まれている	36.4	11. 公的機関設立から長い歴史がある	6.8
3. 公的サービスの品質が高い	53.6	12. 資本金や職員数など規模が大きい	2.4
4. 斬新な公的サービスの提案や、斬新な経営方針を打ち出す	13.6	13. 破綻することはなさそう	14.2
5. 夢がある	7.8	14. 経営状態が良い	16.0
6. 職員が真面目そうである	18.8	15. 社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	33.2
7. 職員を信頼できる	41.0	16. 公的機関のブランドイメージが良い	6.4
8. 公的機関のトップ(首長)が信頼できる	33.4	17. 電話や面会時の職員の対応が良い	55.8
9. 住民重視の姿勢がある	72.2	18. その他： _____	1.2

【次に「原子力発電」について、あなたのお考えをおうかがいします。】

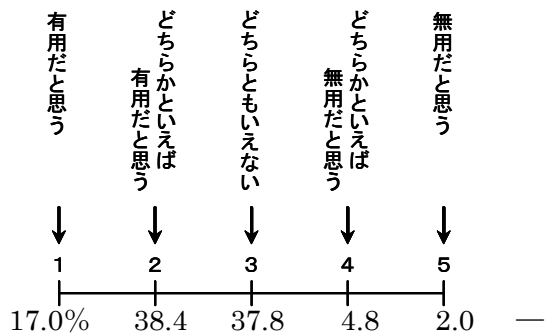
Q 5. あなたは、原子力発電に関心がありますか、それともありませんか。右の選択肢のうち、あなたのお考えにもっとも近いと思われる数字の個所に1つだけ○をつけてください。



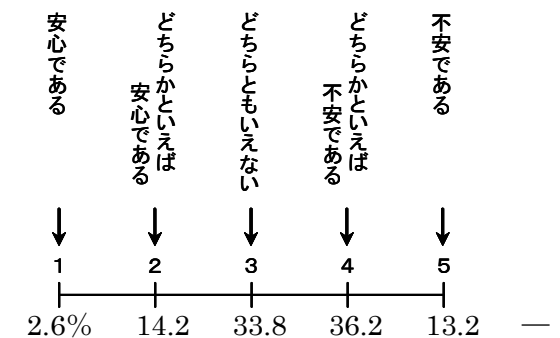
Q 6. あなたは、今後、原子力発電を利用してゆくべきだと考えますか、それともやめるべきだと考えますか。右の選択肢のうち、あなたのお考えにもっとも近いと思われる数字の個所に1つだけ○をつけてください。



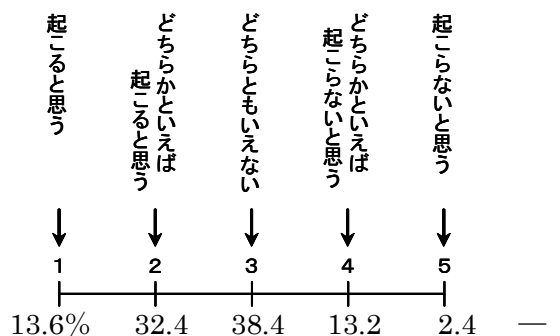
Q 7. あなたは、原子力発電は今日の社会や人びとの生活にとって有用だと思いますか、それとも無用だと思いますか。右の選択肢のうち、あなたのお考えにもっとも近いと思われる数字の個所に1つだけ○をつけてください。



Q 8. あなたは原子力発電の利用について、安心ですか、それとも不安ですか。右の選択肢うち、あなたのお考えにもっとも近いと思われる数字の個所に1つだけ○をつけてください。



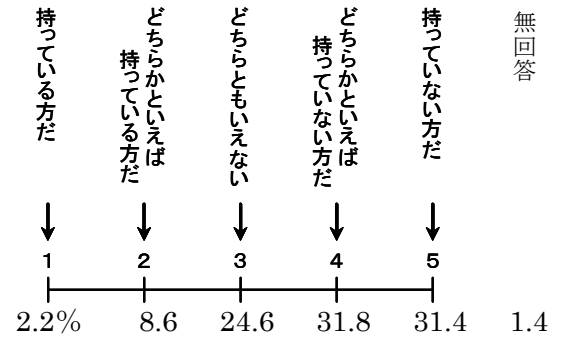
Q 9. あなたは、日本で今後 100 年の間に、原子力発電施設から放射性物質が敷地外に漏れて、一般の人びとが死亡するような事故が起こると思いますか、それとも起こらないと思いますか。右の選択肢のうち、あなたのお考えにもっとも近いと思われる数字の個所に1つだけ○をつけてください。



Q10. 原子力発電の利用に係わる意見として、たとえば以下のような意見が聞かれます。ア)～シ)のそれぞれの意見に対して、あなたは納得できますか、納得できませんか。あなたのお考えにもっとも近いと思われる数字の個所にそれぞれ1つだけ○をつけてください。

	納得できる	どちらかといえば納得できる	どちらかといえば納得できない	どちらかといえば納得できない	納得できない	わからない/しらがない	無回答
	1	2	3	4	5	6	
ア) 使用済み燃料を再処理することによって、核兵器に使用される可能性のあるプルトニウムを抽出すべきでない.....	19.6%	24.4	31.6	7.6	4.2	12.0	0.6
イ) 原子力発電がなくても、電力は十分供給できる.....	3.8%	11.2	36.4	24.4	17.0	7.2	—
ウ) 原子力発電は、発電の際に二酸化炭素(CO ₂)を出さないので、地球温暖化の防止に貢献できる.....	13.8%	34.4	31.6	5.8	2.6	11.4	0.4
エ) 原子力発電は、放射性物質による環境汚染の恐れがある.....	23.0%	37.2	23.4	7.0	2.2	7.0	0.2
オ) 日本での原子力発電による現在の発電量を考えると、近い将来に原子力発電に代わる発電方法はない.....	8.0%	17.6	40.6	13.2	6.4	14.0	0.2
カ) 原子力発電の技術開発より、新しいエネルギーの開発と育成に重点をおくべきだ.....	26.4%	32.8	28.8	5.2	2.4	4.2	0.2
キ) 運転年数が長い原子力発電所が増えているので、安全性は低下している.....	16.8%	34.4	34.0	6.2	1.4	7.2	—
ク) 原子力に携わる人たちの安全確保に対する意識や努力を信頼している.....	9.8%	26.2	40.4	13.0	5.2	5.2	0.2
ケ) 使用済み燃料を再処理することによって、ウラン資源を半永久的に発電に利用することができる.....	6.4%	16.6	39.2	4.6	3.0	30.2	—
コ) 高レベル放射性廃棄物の最終処分地を早急に決定しなければならない.....	25.2%	28.8	25.2	2.8	2.2	15.2	0.6
サ) 高レベル放射性廃棄物の最終処分地は、当分の間決定できない.....	10.8%	13.2	39.8	10.4	7.0	18.4	0.4
シ) わが国のような地震国に原子力発電所は危険である.....	23.8%	29.0	32.6	5.2	3.6	5.6	0.2

Q11. 世間の一般的な人と比べてとき、あなたは原子力発電に係わる知識や情報を持っている方だと思いますか、それとも持っていない方だと思いますか。右の選択肢うち、あなたのお考えにもっとも近いと思われる数字の個所に1つだけ○をつけてください。



Q12. あなたは、原子力と関係のある以下のような言葉を調べたり、教えてもらったりしたことがありますか。あてはまるものをいくつでも選んで、番号に○をつけてください。

1. 放射線	65.2%	7. 放射線医療	52.6	13. 高レベル放射性廃棄物	36.6
2. 放射能	71.0	8. 原子力発電	68.0	14. 地層処分	14.2
3. 核分裂	33.6	9. 原子爆弾	57.0	15. ガラス固化体	6.6
4. 核融合	25.0	10. 原子力船	31.2	16. 核燃料サイクル	21.8
5. 臨界状態	28.0	11. 軽水炉	13.4	17. プルサーマル	22.4
6. レントゲン	65.8	12. 高速増殖炉	20.0	18. プルトニウム	49.2

Q13. あなたは、今後のわが国のエネルギー政策において、以下のようなことのうち、力を入れて取り組むべきものは何だと考えますか。特に力を入れるべきと考えるものをいくつでも選んで、番号に○をつけてください。

1. 省エネルギーの推進	69.0%
2. 新エネルギー（太陽光発電、風力発電など）の導入推進	76.0
3. 天然ガス利用の推進	22.0
4. 石炭のクリーンな利用の推進	9.0
5. 原子力発電の推進	15.0
6. 石油の安定的な輸入の確保	25.4
7. 今までにない新たなエネルギー技術の開発	48.4
8. 地球環境問題への対応	66.8
9. エネルギー価格の安定化や低価格化	34.8
10. エネルギー教育や啓蒙活動	21.0
11. その他	0.6
12. 特になし	2.0

原子力発電所ではウラン燃料を使って発電しています。使い終えたウラン燃料を「**使用済み燃料**」と言います。この使用済み燃料からウランとプルトニウムを取り出して、残りを「**高レベル放射性廃棄物**」として処分します。使用済み燃料からウランとプルトニウムを取り出すことを「**再処理**」と言います。取り出したウランとプルトニウムは、原子力発電の燃料としてリサイクルすることができます。

Q14. 上の文章のうち、あなたはどの部分を聞いたことがありますか。聞いたことがある部分をすべて選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|--|-------|
| 1. 原子力発電所ではウラン燃料を使って発電しています。 | 51.8% |
| 2. 使い終えたウラン燃料を「使用済み燃料」と言います。 | 52.0 |
| 3. この使用済み燃料からウランとプルトニウムを取り出して、 | 36.2 |
| 4. 残りを「高レベル放射性廃棄物」として処分します。 | 43.4 |
| 5. 使用済み燃料からウランとプルトニウムを取り出すことを「再処理」と言います。 | 36.8 |
| 6. 取り出したウランとプルトニウムは、原子力発電の燃料としてリサイクルすることができます。 | 35.0 |
| 7. どの部分も聞いたことがない。 | 24.0 |

Q15. 使用済み燃料からウランとプルトニウムを取り出し、原子力発電の燃料としてリサイクルすることについて、あなたはどのように思いますか。あなたのお考えに近い意見をいくつでも選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|---|-------|
| 1. 日本は、使用済み燃料のリサイクルを行うべきだ。 | 36.6% |
| 2. 使用済み燃料はリサイクルせず、そのまま処分すべきだ。 | 6.4 |
| 3. 使用済み燃料をリサイクルすることは、資源の効率的な利用になると思う。 | 40.6 |
| 4. プルトニウムを原子力発電の燃料として利用することは、不安だ。 | 15.0 |
| 5. プルトニウムの取り出しや利用に際しては、国がしっかりと管理して欲しい。 | 49.8 |
| 6. 使用済み燃料をリサイクルするのは採算がとれないと思う。 | 3.8 |
| 7. 使用済み燃料を再処理する際の放射能汚染が心配だ。 | 34.6 |
| 8. プルトニウムは軍事目的に転用されるかもしれない。 | 17.8 |
| 9. プルトニウムの取り出しや利用は、事故の可能性を高めたり、被害を大きくしたりする。 | 13.4 |
| 10. その他： _____ | 0.6 |
| 11. 使用済み燃料のリサイクルやプルトニウムのことはよくわからない。 | 23.2 |

日本では、高レベル放射性廃棄物の処分方法として、地中深くに埋める方法を選択しました。この処分方法を「地層処分」と言います。地層処分はまだ実施されていません。

現在、処分場を作るための調査を受け入れてくれる市町村を全国から募集しています。2007年1月には、高知県東洋町から日本で初めてとなる調査への応募がありましたが、実際に調査を開始するには至りませんでした。

Q16. 上の文章のうち、あなたはどの部分を聞いたことがありますか。聞いたことがある部分をすべて選んで、番号に○をつけてください。

1. 日本では、高レベル放射性廃棄物の処分方法として、地中深くに埋める方法を選択しました。 42.8%
2. この処分方法を「地層処分」と言います。 27.2
3. 地層処分はまだ実施されていません。 17.6
4. 現在、処分場を作るための調査を受け入れてくれる市町村を全国から募集しています。 34.8
5. 2007年1月には、高知県東洋町から日本で初めてとなる調査への応募がありましたが、実際に調査を開始するには至りませんでした。 23.4
6. どの部分も聞いたことがない。 40.4

Q17. 高レベル放射性廃棄物の処分について、あなたはどのように思いますか。あなたのお考えに近い意見をいくつでも選んで、番号に○をつけてください。

1. 地層処分は、処分方法としては妥当なやり方だと思う。 11.0%
2. なぜ、地層処分が選択されたのかわからない。 35.0
3. 地層処分が一番安全だから、国はこの方法を選択したのだろう。 16.2
4. 地層処分の安全性について、自分で勉強しようと思う。 6.2
5. 地層処分の安全性については、専門家の判断に従うしかない。 37.8
6. 高レベル放射性廃棄物の処分がまだ実施されていないことに驚いた。 21.0
7. 私たち自身が、高レベル放射性廃棄物の処分について考えなければいけないと思う。 21.2
8. 高レベル放射性廃棄物の処分について私たちが考えたからといって、国の方針に影響を与えられるわけではないと思う。 14.4
9. 自分も電気を使っているので、自分の住んでいる地域に処分場を作られても文句はいえない。 10.0
10. 自分が住んでいる地域に処分場を作ることを認める自治体や住民がいるとは思えない。 39.6
11. 生活している足下に高レベル放射性廃棄物が埋まっているのは、あまり良い気がしない。 54.0
12. 地層処分事業は、国が責任を持ってやるべきだと思う。 48.0
13. その他： _____ 0.2

【「技術」というものの捉え方について、おうかがいします。】

Q18. 私たちは、科学によって物事や現象の仕組みを理解し、その科学を応用して、私たちの要求を満たす技術を利用してきました。技術に関する次の意見について、あなたはどうお考えですか。ア)～ス)のそれぞれの意見に対して、あなたのお考えにもっとも近いと思われる数字の個所にそれぞれ1つだけ○をつけてください。

	1	2	3	4	5	6	無回答
ア) 人類の発展は、技術の発展と共にある	40.4%	40.6	14.0	2.0	1.6	1.2	0.2
イ) 技術は、人々に物質的な満足（生活の快適さ）を与えている	38.8%	44.2	12.8	1.8	1.0	0.8	0.6
ウ) 技術は、人々に精神的な満足（心の豊かさ）を与えている	22.2%	30.8	32.4	8.8	3.8	1.2	0.8
エ) 技術は、人々に物質的な弊害（環境汚染等）を及ぼしている	19.4%	42.2	26.8	6.6	2.4	1.8	0.8
オ) 技術は、人々に精神的な弊害（人間らしさの損失等）を及ぼしている	8.6%	26.8	43.4	12.8	5.6	2.2	0.6
カ) 技術の利用の方向付けは、内容をよく知る者で決めてほしい	16.0%	25.4	38.2	10.2	6.2	3.4	0.6
キ) 技術の利用の方向付けは、一般市民が関与すべきだ	8.0%	25.0	45.4	9.8	5.6	5.6	0.6
ク) 一般市民が、技術の利用の方向付けに関与すれば、技術の利用によって及ぼされる危険は軽減できる	5.4%	18.8	47.4	16.0	6.0	5.8	0.6
ケ) 一般市民が、技術の利用の方向付けに関与すると、技術の進歩が停滞する可能性がある	5.0%	22.6	45.0	14.6	6.2	5.4	1.2
コ) 社会の進歩に役立つ技術なら多少の危険はやむを得ない	2.6%	9.4	32.0	27.2	25.8	2.0	1.0
サ) 少しでも危険性のある技術は利用すべきではない	24.0%	28.4	26.6	12.2	5.8	2.6	0.4
シ) 技術は、有益性と危険性を十分吟味してから利用すべきだ	43.8%	38.2	12.8	2.4	0.4	1.6	0.8
ス) 技術の利用による危険を克服するのも技術である	28.8%	37.0	23.6	5.0	2.6	2.2	0.8

【最後にあなたご自身のことについて、おうかがいします。】

Q19. あなたの性別 1. 男性 50.0% 2. 女性 50.0

Q20. あなたの年齢

- 1. 20歳～29歳 17.0%
 - 2. 30歳～39歳 21.0
 - 3. 40歳～49歳 16.0
 - 4. 50歳～59歳 17.0
 - 5. 60歳～69歳 22.8
 - 6. 70歳以上 6.2
-

Q21. あなたの最終学歴は、次のどれにあたりますか。(中退、予定は含めて考えてください。たとえば、大学法学部卒業予定→「大学(文系)」を選択。)

- 1. 小・中学校 7.0% 5. 大学(文系) 21.0 9. 専門学校 13.6
 - 2. 高等学校(旧制中学を含む) 39.2 6. 大学(理系) 8.4 10. その他: 0.2
 - 3. 短大・高専(文系) 7.2 7. 大学院(文系) 0.4
 - 4. 短大・高専(理系) 2.2 8. 大学院(理系) 0.8
-

Q22. あなたは、現在、どちらにお勤めですか。

- 1. 自営業種 11.4% 4. 勤め(パートタイム) 17.0 7. 無職 9.2
- 2. 家族従業(家事手伝い) 1.6 5. 専業主婦 18.0 8. その他: 1.4
- 3. 勤め(全日) 35.2 6. 学生 6.0 無回答 0.2

■ 本アンケートや、エネルギーと原子力に対するご意見・コメント等がございましたら、この欄にご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力まことにありがとうございました。